

「教職員の育成・評価システム」に係る

「目標管理」をどう進めていくか!

各学校におきましては、すでに当初面談を終えられている頃ではないかと思えます。この「目標管理」は学校経営を「一步先へ」進めて行く上で、非常に重要かつ有効なシステムです。このシステムを実効性のあるものにするための視点や工夫を以下に示しました。校長先生方のこれまでの実践で抜けているものがあれば、ぜひ取り入れてみてください。

【校長の自己目標シート】

- 「学校経営・学校管理Ⅰ・Ⅱ」は学校経営APに基づいたものに。
- 「教職員人事管理Ⅲ」には、働き方改革の具体的な取組を。
- 校長の自己目標シートを職員に公表し、自己の目標指標と取組指標や検証方法を職員に説明する。
- 校長の自己目標や取組の進捗状況、今後の取組について中間期に職員に説明する。
- 年度末に自己評価「A」が必ず1つ以上付けられるように計画・実施する。
※APの2つは是非「A」にしたい。

【教員の自己目標シート】

- 校長の学校経営計画とAPを踏まえた目標設定や具体的な取組になるように面談等で助言する。
- 働き方改革の一層の推進を図るため、効率化等、業務改善の取組を積極的に取り入れるように指導する。
- 校内研修等を活用し、教員間で自己目標シートの内容を交流する工夫をする。
※中間期や年度末においてもできるだけ交流の場をもちたい。
- 年度末に自己評価「A」が必ず1つ以上付けられるように計画・実施するよう指導・助言する。